

平成 29 年度第 2 回みえライフイノベーション総合特区推進本部会議議事概要

- 1 開催日時：平成 30 年 2 月 22 日（月） 9:45～9:55
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：次のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 みえライフイノベーション総合特区計画の進捗状況について

●事務局【ライフイノベーション課】（資料に基づき説明）

[平成 28 年度特区評価結果]

- ・ 内閣府が公表した平成 28 年度の本特区評価結果は、5 点満点で「3.8」と前年度から 0.2 ポイントアップし、全国のライフイノベーション分野の特区 12 地域中で、4 位となった。
- ・ 専門家からは「全体として県をあげてしっかりとした取組がなされ、多様な産業創出の契機を生み出していると評価できる」等の所見を得た。

[平成 29 年度取組]

- ・ 統合型医療情報データベースについては、事業主体である三重大学医学部附属病院を含む 9 医療機関において、平成 29 年度末には 30 万人以上となる医療情報の収集が順調に進められている。
- ・ 研究開発支援拠点 MieLIP の主な取組については、資料のとおり。この他にも、企業の商品開発に積極的に取り組む市町と連携を密にすることで、企業ニーズへの対応や具体的な実証試験の実施に向けた支援等を行っている。
- ・ 医療福祉機器等の製品化促進支援として、東京日本橋での民間シンポジウムに、本県から併設型の製品展示会を提案し、岐阜県、広島県等にも出展をよびかけ、1 都 3 県による広域的な製品展示会を開催した。
- ・ 認知症ケアに必要な製品・サービスの創出をめざし、認知症の人やその家族、医療・介護関係者、企業等と連携し、製品展示会やアンケート調査等を実施した。

[平成 30 年度取組方向]

- ・ ヘルスケア分野、特に、認知症ケアに必要な製品・サービスの創出をめざし、医療・福祉現場等のニーズと県内ものづくり企業等とのマッチング、国内外の事業者間のマッチングに取り組む。
- ・ 統合型医療情報データベースについては、三重大学の共同研究に向けた支援や他地域の取組との連携可能性の検討等を行う。

☆意見等なし